

いつでも利用できる

自動血圧測定器を設置

次に、市民の健康づくりを目指す衛生費は、三億四千八百万円、前年度より二億四千万円、四〇・八五%の減となつています。これは、前年度に実施した中宮祠ごみ焼却場建設が終わつたためです。しかし、お年寄りや成人病に対する予防検診、健康指導、乳幼児に対しての健康診断には力を入れ、また、環境衛生面でも、野口清掃センター

の整備費に五百万円、ごみ収集車と、し尿収集車に六百五十万円など、収集の機動力向上に努めます。

さらに、自動血圧測定器（百二十万円）を市民待合室に設置し、市民の皆様にお気軽に利用してもらふことにしています。

農林水産業費は二億七千九百七十四万七千円で全体の四・八〇%です。主な事業としては、

農道と林道の整備事業に一億六千万円、間伐促進総合対策事業に一千七百五十万円、農業振興対策資金貸付事業に五百万円などとなっています。

市民生活の安全を維持する消防費は三億一千三十五万二千円。防火貯水槽や消火栓の整備に一千五百万円、消防ポンプ自動車購入七百八十八万円、救急自動車購入四百万円のほか、サイレン難聴地域の解消のため六百万円で消防サイレン遠隔装置を建設します。

会計別の予算額

一般会計	58億2,400万円
国民健康保険費	8億1,895万円
ユースホテル事業費	2,036万5千円
小来川診療所費	2,547万5千円
下水道事業費	4億8,358万7千円
老人保健費	8億9,066万8千円

性質別歳出

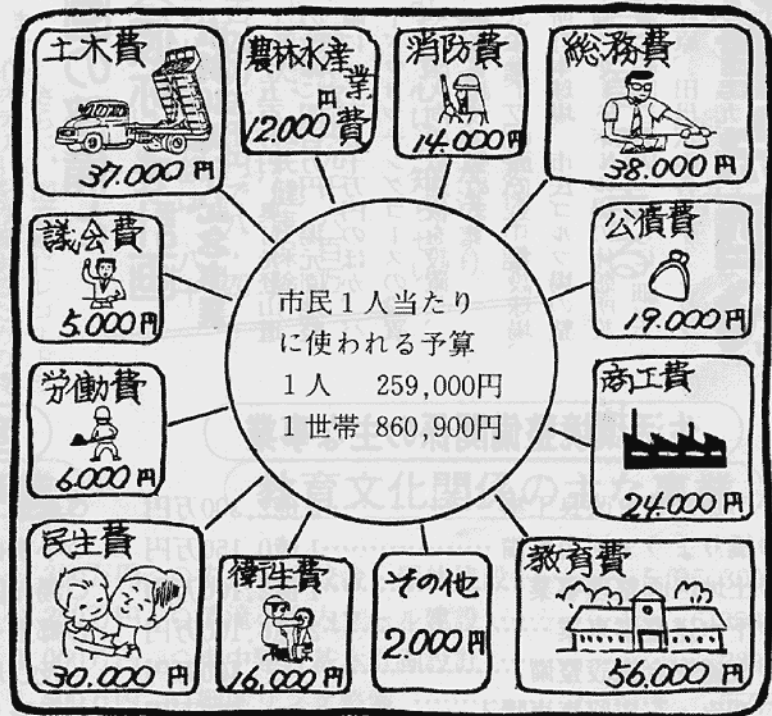
普通建設事業費が約3分の1

それでは次に一般会計の歳出を性質別に見てみましょう。性質別というのは、予算を人件費、物件費、扶助費、補助費、普通建設事業費等に区分する方法で、全部で十六の項目からなっています。

初めに、最も多いのが予算の約三分の一の二九・六二%を占めるのが普通建設事業費です。額にして十七億二千五百五十八千円になります。この普通建設

事業費は、道路の舗装・改良、学校の新築・改築、都市施設の整備など、いわゆる公共的施設、公用施設の新増設、改良を行うために支出される経費です。

次に人件費が多く、二四・四六%、十四億二千四百四十九万円となっています。人件費は、職員の給与のほか、議員の報酬、委員等の報酬、地方公務員共済組合員負担金などが含まれています。



三番目に多いのが物件費で、

五億五千七百七十二万二千円、九・五八%となっています。物件費は行政事務の執行に必要な原材料や設備、役務等の調達費などで、旅費、需用費、備品購入費、原材料費等があります。

次いで、補助費等五億三千六百二十七万九千円（九・二二%）、公債費四億三千六百六十一万一千円（七・五〇%）、扶助費三億二千六百八十三万七千円（五・六一%）の順になっています。

補助費等は、公益上必要がある場合に、公共的団体等に支出する負担金、補助金、交付金です。その他に火災保険料や自動車損害保険料なども含まれます。

公債費は、市が借り入れたお金の元利償還金や一時借入金の子を支払う経費。また、扶助費は、社会保障制度の一環として生活困窮者、老人、児童、身体障害者等に対する生活援助、医療対策などの給付に要する経費となっています。